

THE ROTARY CLUB OF CHOSHI

銚子ロータリークラブ会報

国際ロータリー第2790地区

創立 昭和32年3月23日

RI承認 昭和32年4月15日

会長 島田 洋二郎

副会長 松本 恭一

幹事 石毛 充

会計 金子 芳則

2016~2017年度 RI テーマ

人類に奉仕するロータリー

ROTARY SERVING HUMANITY

2016~2017 RI 会長 ジョンF. ジャーム



例会日時 毎週水曜 12:30~

例会場 銚子商工会館 5F大会議室

事務所 銚子市三軒町19-4

銚子商工会館4階

電話 0479-23-0750

ファクス 0479-25-8789

E-mail rotary@choshinet.or.jp

URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~crc>

第2910号 (2016年8月3日発行)

今週のプログラム

「会員増強・拡大月間にあたって」
国際ロータリー第2790地区
管理運営統括委員会
会員増強・退会防止委員会
委員長 高橋 潤一様 (新千葉 RC)

前回例会報告 (7月27日)

点 鐘：島田 洋二郎会長
ロータリーソング：四つのテスト
四つのテスト唱和
ビジター紹介：なし

会長挨拶

先週開催致しました、2012-13 年度RI会長・田中作次様をお迎えしての「銚子RC創立60周年記念例会」お疲れ様でした。歓迎会にもたくさんの皆様にご参加頂き、本当にありがとうございました。

当日メーキャップを頂いた鈴木勝彦ガバナー補佐、旭RCの加瀬会長、八日市場RCの江波戸会長へは、先週のうちにお礼状を送らせて頂き、銚子東ロータリークラブへは昨日の例会へ石毛幹事と伺い、当日の御礼の挨拶の時間を頂いてまいりました。

当日例会後、田中様、高瀬委員長、そして石毛幹事と一緒に「地球の丸く見える丘展望台」をご案内し、その後、猿田神社へ伺わせて頂きました。帰際にはお土産まで頂戴し、猿田会員にはこの場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。



田中元RI会長は、11 時過ぎに会場へ到着されたのですが、会頭室での約1時間の懇談から始まり、例会から歓迎会が終わるまでほとんどご一緒をし、歓迎会の席でも色々とお話をさせて頂く中で、田中様から質問についてのお話がありました。当日の4名の皆様からの質問についてではありません。田中様は、「島田さん、質問には良い質問とかそうでない質問とかは有りません。たまに、もっと勉強してから質問しなさい・・・という言葉を目にしますが、それは違います。質問する方の習熟度、経験、知識によって質問の内容が違って来るのは当たり前のことですし、私は質問されたことにはいつも丁寧に答えているつもりです。もしその場でわからなければ、後で調べてその方に伝えるか、お会いすることがまれな場合は書面として先方へ送ることにしています。」とおっしゃっていました。

さて、今日は恒例の新入会員の卓話ということで、永澤会員がお話をされます。自分も9年半前に新入会員の卓話をさせて頂いたことを懐かしく思い出します。永澤さんは入会されて約3か月になりますが、ロータリーのこと、また銚子での生活面を含めて、分らないことや疑問に思うことが有りましたら遠慮なく会員の皆さんにお訊ね頂ければと思います。それでは、本日の永澤さんの卓話を楽しみに待ちながら会長挨拶を終わりとさせて頂きます。

幹事報告

【週報拝受】成田空港南 RC

1. 国際ロータリー人頭分担金請求書
…国際ロータリー
2. 7月クラブ請求書について
3. 2016年8月のロータリーレート 1ドル=102円
4. 地区報告のお願い WEB 登録サイト



第2790地区

ガバナー 青木貞雄 (成田コスモポリタンRC)

広報・会報委員会 委員長 信太 秀紀

委員 金子 芳則

5. お盆休みと台風等による例会の取り消しについて
6. 地区ゴルフ大会参登録料について
…以上、ガバナー事務所
7. 普通寄付金申告用領収証の受付開始について
…公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
8. 納涼盆踊り大会御礼状
…さざんか園

会員の記念日

☆誕生日おめでとうございます
丸山 泰典会員(7月19日)
永澤 信会員(7月27日)

ニコニコBOX

◇金島 弘会員

先週、名古屋ドーム球場と中京競馬場に行ってきました。プロ野球12球団制覇しました。残るJRA競馬場は京都のみです。遅くなりましたが、今年度社会奉仕委員会宜しく願い致します。

卓話

「新入会員卓話」

永澤 信会員



皆様こんにちは。新入会員の永澤でございます。今年5月末に入会させて頂きまして、まだ2カ月ほどしか経過しておらず、ロータリークラブの仕組みが理解できない半人前ではございますが、本日お話しさせていただく機会を与えていただき感謝申し上げます。しかしながら、皆様と比べまして人生経験の少ない私でございますので、お話する内容も特に皆様が参考になるような話ではないかも知れませんが、最後まで一生懸命頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、初めての卓話でございますので、改めましてとなりますが自己紹介を兼ねてこれまでの経歴と、最後に私の職業に関係する地震保険、熊本震災に関するお話をさせて頂きたいと思っております。

まず、自己紹介ですが、名前は「ながさわ しん」と申します。公務員の父と、栄養士であった母との間に「永澤家」の長男として生を受けました。下には4つ離れた弟がおり、そして祖母の5大家族の中で育ちました。誕生日は昭和49年7月27日、まさに42年前の今日です。誕生日の日にごうして卓話とさせて頂くことに何かしら運命を感じております。出生地は、東北の岩手県一関市というところがございます、豊かな自然に囲まれ、長閑で時間の流れがゆったりとした田舎町で育ちました。一関は岩手県の南部に位置する町で、観光名所と言え、舟下り(景色が良い渓谷を船頭付きの船で川下りする。)が有名な狛鼻溪、「空飛ぶだんご」や栗駒山の噴火によって堆積した岩が水流によって削られ形成された

自然彫刻が楽しめる巖美溪など、何れも豊かな自然を生かしたものが多く、また、2012年に世界文化遺産登録された中尊寺がある平泉町の隣町でございます。食文化ですが、特徴的なものがございます、行事や冠婚葬祭など、喜びの時も悲しみ時も「もち」を食べるという文化があり、「もち」の種類も、ずんだ、胡麻、胡桃、生姜、エビなど様々な種類があり、一人当たりの「もち」消費量日本一と言われる街でございます。

幼いころは活発な方で、父の影響で幼い頃より野球で遊んでいました。何処に行くにもボール、グローブ、バットを持って出かけていたと聞いております。小学校4年生からは地元の中里スポーツ少年団に入団し夢中に野球をしていました。私が育った中里という地区は野球に熱心な地域で、毎日のように地域の皆さんに支援頂きながら夕方4時から夜7時過ぎまで練習しておりました。特にコーチとして指導頂いた千田さんは市役所の職員でしたが、毎日夕方5時過ぎにはグラウンドに来られ私達を指導いただきました。「何でも一番」というのが千田さんの口癖で、「野球のみならず、挨拶も、勉強も、どうせやるならば一番を目指そう!」というものです。野球の技術以上に、礼儀作法や心構えなど、人として大切なものを教えて頂いたと思っています。私は体も大きく打つことも投げることも得意でしたのでチームの中心選手として5年生から試合出場しておりました。チームは他を圧倒する練習量を誇っていましたので、6年生の時には出場した全ての大会で決勝まで勝ち進み東北大会で準優勝するなど恵まれた環境で野球をさせて頂きました。中学でも同じく野球に励み中学3年の夏には県大会準優勝という成績を残しましたが、小学校時代と同じく「準」が付く優勝であり、栄冠まであと一步届かず、非常に悔しい思いであったことを今でも覚えています。

一方、学業の方はというと、母方の親戚に教師や学者そして医者の方がおり、母がその様な環境で育ったことから教育に熱心であったため、公文式や書道など塾に通っておりました。私自身も学ぶことへの抵抗感はなく自ら積極的に通っていたように思います。公文式というのは数学や国語の塾ですが宿題を終えるとわざわざ塾まで起き先生から追加の宿題を貰ったり、書道の方も書作展の前には、野球の練習が終わってから書道教室に行かせていただき、上手く描けず泣きながら何百枚も書いていた記憶がございます。今の私では信じられません。そんな子供でした。

高校は、地元の進学校である一関第一高等学校に入学しました。今思えば、これが私の人生の分岐点であったと思います。小・中学校とプレーしたメンバーには有能な選手が2名おり、私を合わせ3人がチームの中心人物でした。一人は社会人(JR東日本東北)まで野球を続ける程のプレーヤーで、もう一人は最終的にプロ野球という選択はしませんでした。高校生ドラフト候補となった選手です。当時、私達3人が甲子園常連校であった一関商業高校から野球での特待生のお誘いがございまして、彼ら2人と引き続き野球をしたいという思いと一緒にあれば憧れの甲子園出場も夢ではないと確信していましたので、進路選択に死ぬほど悩んだ記憶がございます。一方で、当時から上(大学)でも野球をしたい

という気持ちもあり、そして何より教育に熱心であった両親の思いも踏まえ、結果的には地元の進学校であった一関第一高等学校を選択しました。一関一高は、明治31年創立の県立高校で文武両道を目指す学校です。学業のみならずスポーツにも積極的で、特に野球部は旧制中学校時代2回ほど甲子園に出場した歴史があります。当時の監督は菊池さんという方で駒澤大学野球部出身。極めて厳しい指導者でした。とことん精神面を鍛え上げられました。連日5時間、学校終了後夕方4時から夜9時までの練習です。休みは正月とお盆の数日のみ。私は投手でしたが、投手は毎日アップ(準備運動的なものです。)として20キロのランニングが日課でした。2回ほど脛を疲労骨折しましたが無視して休まず練習しながら治した記憶があります。入部当初の同級生は15名おりましたが、練習に耐えきれず退部する者もあり卒業時10名になっていました。私自身も辛くてたまたま辞めたいという思いを抱える日々でしたが、何としても甲子園に行きたいという夢と、厳しすぎる監督でしたが、監督自身もプライベート全てを我々に捧げており、誰よりも野球に対する情熱と信念を持っている方でしたので、最後までついていこうと3年間耐え続けました。厳しい練習に耐えたお蔭で、高校3年生の春には地方大会を勝ち進み、県大会では準優勝し50年ぶりの東北大会を果たすことができました。OB、地域の皆さん、学校全体から「もしかしたら甲子園出場も夢ではない。」という期待を一身に受けるようなチームに仕上がっていましたが、夏の選手権大会の直前に監督さんが工作中に事故に遭い足を複雑骨折され監督が変わるという出来事がございまして、精神的な支柱を失い気が抜けた我々はチームを立て直す事が出来ずベスト16で敗退という結果でした。しかしながら、あの厳しい練習に耐え抜いた仲間は一生涯の友人であり、今でも集まると昔話を懐かしく語り合っています。

大学は立教大学に入学、体育会硬式野球部に入部しました。阿天坊さんの後輩になります。東京六大学で野球をしたいというのは中学時代からの志ですが、六大学の中で立教大学を選択したのは、立教と東大は野球の推薦入学がなく、地方の無名校出身でも試合に出られる可能性が高いと高校時代の野球部顧問の先生にアドバイス頂いたからです。しかし入部してすぐ幻想であると感じます。部員は100名を超えベンチに入れるのはせいぜい25名位です。私は投手でしたが、4学年で30名おりベンチ入りは5~6名。熾烈な競争が求められました。当時の立教は全寮制で全ての部員が一つの寮で生活をしていましたが、すさまじく厳しいところでした。体育会系ご出身の方はご存知だと思いますが、会社で例えると1年生は平社員、2年生で課長、3年生でようやく部長、4年生は役員という序列であり、とても封建的な世界でした。1年生の門限は夜8時でして、夜8時に全員集合しみんなで練習道具を磨くわけです。道具磨きが終われば先輩のマッサージや買出しなど、下級生時代はまさに下積み生活です。グラウンド整備の方法や練習中での先輩からボールを受け取る時の仕草や声だしの方法にも決まりがあり、加えて厳しい寮内での規則もございまして、これらの決まりを破れば学年

全員での連帯責任が問われます。責任とは罰ですが、全員が「外出禁止」若しくは「坊主」というものでした。自分がミスをすれば同級生に迷惑がかかるという仕組みでありました。忘れられないエピソードがありますが、ある日のグラウンド整備での出来事です。私は1塁整備を担当していました。我々下級生は入念に整備をしたつもりでしたが、4年生に「一塁整備ちょっと来い！」と呼ばれ全員ダッシュで集合しました。何かと思えば、グラウンドに石が落ちているとのことでした。見ると確かに石らしきものがありました。いきなり全員平手打ちされ二人鼓膜が破れるということもありました。私は幸い破れませんでした。その後から確認したところ、石ではなく単なる土の塊でした。そのような環境で下級生時代を過ごしました。3年生になると待ちに待った上級生でございしますが、私は決して理不尽な立ち振る舞いはしておりません。プレーヤーとしては、2年生の春に3番手の投手としてベンチ入り直前まで行きましたが、リーグ戦直前のキャンプで右肘靭帯損傷。そして3年の春には左足首の靭帯断絶。大学生活の半分を怪我で棒に振り、これまで野球を通じて経験したことのない挫折を味わい、一度は退部も考えましたが、折角子供の頃から続けて来た野球でありますし、一度始めたら最後まで続けるという私の性分もあり、粘り強く続けた結果、4年生の春のリーグ戦でベンチ入りし投球回数は3回で御座いますが念願の神宮球場で投球することが出来ました。私にとって野球人生締め括りの大学野球。大きな成績を残すことが出来ず挫折を経験した4年間ではございしましたが、組織での生き方や立ち振る舞いを学び、厳しい環境の中、苦楽を共に分かち合った同期という一生涯の仲間を得たことが最大の宝であります。

大学卒業後、1997年4月に縁がございまして東京海上日動に入社しました。入社後一貫して営業現場で勤務しており、東京で10年、栃木県宇都宮市で5年、富山県高岡市で4年勤務し、そして今年4月の人事異動により銚子支社の支社長を拝命されました。このたび部下を持つ経験は初めてでございまして、メンバーの人生を左右する職務ということでその責任の重さを実感し身の引き締まる思いであります。

ここからは、現在の職業についてのお話をさせていただきます。具体的には4月14日に発生した熊本地震に関する話です。熊本地方を中心に大分県など広範囲で発生した大規模な地震が発生し3カ月余りが経過しました。被災地域では、未だ不安を抱えたまま不自由な生活を強いられている方もおられ、生活再建・地域経済の復興に向けた取り組みの進展が望まれるところです。弊社としましても、一日でも早く被災に遭われたお客様に保険金をお届けすべく取り組みを進めているところでございます。私自身は5月の連休明けに被災地に向かい損害査定業務を行ってまいりました。約1週間ではございましたが、被災されたお客様を訪問しお見舞い申し上げますと共に、地震保険の補償の説明や損害査定業務を行ってまいりました。テレビなどで報じられることが多い益城町へもうかがい想像以上に損害が甚大であると痛感すると同時に、保険会社の社員として「出来る限り早くお客様に保険金をお届けしたい。」という強い使命感に

駆られた1週間でもございました。今回の震災による損害保険業界全体で、事故受付件数は約21万件、支払保険金の合計は約3,300億円にのぼります(6月27日時点)。阪神淡路大震災での支払保険金は約790億円でございますので、今回の震災規模がいかに大きかったかを証明する数字ではないかと思えます。歴史的には東日本大震災の約1兆2300億円に次ぐ規模になっています。

それでは、お手元の資料をご覧くださいながらお聞きください。今回の震災で私共業界が一番保険金をお支払したのは「家計地震保険」というものです。家計地震保険は、「地震保険に関する法律」によって保険の内容が決められています。居住用のお住まいが条件で、建物・家財が保険の対象です。主契約として火災保険の契約が前提になります。被災された皆様に早急に保険金をお支払するため、損害の確認や保険金のお支払に際して見積書等の取り付けは不要という特徴があります。損傷状況から、全損・半損・一部損という3分類でお支払しております。また、地震保険料控除という制度がございます。平成19年1月より損害保険料控除制度が廃止され新たに創設された制度です。控除の例をご覧くださいますと所得税で最大5万円、住民税で最大2.5万円が控除の対象となり税負担が軽減されます。以上が家計地震保険の概要でございますが、この震災を機に私は2つのことを強く感じました。

1つ目は、日本という国に生活する上で、私たちは地震や台風、水害といった自然災害と共存していかなければならないということです。日本全国どの地域でも大きな自然災害が発生する可能性があります。お客様やご家族をお守りするため、私たちは地震をはじめとした自然災害についてしっかりと学び、平時よりそうした災害に対する備えをお客様に提案し続ける責任があります。

そして、2つ目は保険の機能、保険の役割の重要性です。今回の地震では住宅をはじめとして、各地で大きな被害が発生しました。その爪痕は大きく、復興に向けて被災者の皆様の経済的な負担は今なお大きなものとなっています。こうした中で、お客様に届けられる保険金はおお客様が未来に向かって前向きに歩もうとする際の確かな支えになります。改めて、保険というものを通じ、「いざ」というときにお客様や地域社会のお役に立つことが私たちの使命だと強く思った次第です。

最後になりますが、弊社として出来る事、私ども銚子支社メンバーとして出来る事、すべきことを考えながら、保険という職業を通じ銚子の地で地域に根付いた仕事をして参りたいと思っております。このたびお仲間に加えていただくことになり2ヵ月、まだ、駆け出しではありますが、諸先輩の皆さん、どうぞよろしくお願い申し上げます。本日はご静聴ありがとうございました。



地区出向者 3 名へクラブより交通費を交付

委員会報告

2015～2016 年度 100%出席表彰
年間出席率 80.88%



累積皆勤表彰 10年 宮内 龍雄会員

加瀬会員・兒玉会員・堀米会員・石毛会員・金子会員
金島会員・上総会員・小林会員・松本会員・宮内(秀)会員
宮崎会員・大岩会員・大里会員・佐藤会員・猿田会員
信太会員・島田会員・高木会員・高橋宏資会員
田中会員 (以上 21 名)

【出席報告】

会員総数 39 名
出席計算 37 名
出席 27 名 欠席 10 名 出席率 72.97%
欠席：伊東君・木曾君・越川君・櫻井(公)君
佐藤君・信太君・杉山君・富永君
遠山君・高橋宏明君

【M U】

7/23 米山カウンセラー研修会 松本君
7/30 研修リーダーセミナー 宮内(龍)君・高橋君

【ニコニコ】

ニコニコ BOX	¥ 8,000	計 ¥ 79,000
スモールコイン	¥ 2,500	計 ¥ 4,801
米山 BOX	¥ —	計 ¥ 3,300
希望の風	¥ —	計 ¥ 24,000

次回のプログラム (8月10日)

「近年のインターネット犯罪の現状」
千葉県警察本部生活安全部
サイバー犯罪対策課 星野和彦様

膳：(幕の内)